

## エゾマイマイカブリ

澄川森林の避難小屋のサポートに入りました。作業をしていた足元に比較的大きな虫が這い出してきました。マイマイカブリでした。携帯していたデジカメでゲットした映像をご覧ください。画像には2015年6月6日13時37分と記録されました。手袋をつけていたので捉えましたが、素手では捉まえてはいけません。オサムシ科の虫たちは保身術として毒液を噴射する能力を持っています。九州での子供の頃もヘッピー虫と呼んで警戒したものです。和名の頭にエゾがついていて、



北海道特産と勘違いしますが、分布は主な離島を含む日本全土に及びます。飛行する翅が退化して飛べないのですが、それでいて離島にも分布しているのですから飛んでいた祖先たちが

分布をひろげたものでしょう。台湾ではカタツムリ駆除のために日本から人間が持込んだものが定着しているとのことなので、人間が持込んだ例もあるのかも。



マイマイカブリのマイマイとはカタツムリのことで、カタツムリを主食としていることでの命名です。幼虫から成虫にいたるまで、カタツムリをたべるとのこと。ホタルが水性のカタツムリのカワニナに依存しているのに似ていますね。マイマイカブリは顎がしっかりしていますが、カタツムリを齧るのではなく、消化液をだして溶かして食べるとのこと。カタツムリは主に森林に生息しますので、棲息環境はカタツムリのそれに重なります。主には

夜行性なのですが、今回のように昼間にも行動していることもあります。

この固体の胸回りに美しい金属光沢が見られます。オサムシたちは色変わりのバリエーションが豊富で、しかも美しいので出会いが楽しみです。北海道では密度が薄いのでなかなか出会いの機会が少ないのが残念です。

避難小屋作りもいよいよ完成に近づいてきました。西野棟梁の意欲が反映されて本格建築と見まごうばかりで、積雪や強風にも絶えうる気配であります。澄川森林の環境が年々充実しています。嬉しいことでもあります。

